

経済学部（経済数理学科、現代経済学科）の入学者受入れの方針（Admission Policy; AP）・入学者選抜方法指針

本学部の「理念・目的」「教育目標（人材育成方針）」、DP及びCPを踏まえ、以下のようにAPを定める。

（AP1）求める学生像

（AP1-1）経済や社会の現象や問題の解明・解決に強い関心を持つ人

経済数理学科 ものごとを論理的に考え、データの中から真実を見つけたいと思う人

現代経済学科 ものごとについて実体験を通して理解したいと思う人

（AP1-2）経済学を学ぶ上で必要となる、高校までに身に付けておくべき基礎学力を持つ人

経済数理学科 数学、英語、地理歴史・公民、国語の学力

現代経済学科 英語、国語、地理歴史・公民、数学の学力

（AP1-3）他者と積極的にコミュニケーションを図り、協力しようとする姿勢を持つ人

経済数理学科 他者へものごとを論理的に説明したい人

現代経済学科 他者と協力しながら共に目的を達成したい人

（AP2）入学者の選考方針

経済学部（経済数理学科、現代経済学科）では、学部・学科の「求める学生像」を考慮しつつ、多様な人材を受け入れるために多様な選抜方法を使って、公平かつ適正に入学者の選考を行う。

（AP3）大学入学までに身に付けておくべき教科・科目等

英語：英語の長文を正確に理解する力、事実・意見を的確に英語の文章で表現する力、英語で他人と会話する力を養うこと。

地理歴史・公民：地理・歴史・社会制度に関する基本的知識を修得し、社会の動きや仕組みを解き明かそうとする探究心を養うこと。

数学：基本的な数式やグラフを理解し、それを応用して論理的な思考を展開する力を養うこと。

国語：新聞記事・解説文・評論文などの文章を正しく読解する力、及び事実や意見を文章によって効果的に他人に伝える力を養うこと。